

日本庭園

かんふうてい 歓楓亭利用のご案内

日本庭園内の「歓楓亭」は、茶道・俳句・詩吟など、日本の伝統的文化を楽しむ場としてご利用いただけます。ご利用は有料で、事前のお申込みが必要です。

利用時間 時間には、室内の片付け整頓を含むものとお考え下さい。

利用期間	午前	午後	備考
3月～10月	9:30～12:30	13:30～16:30	午前・午後
11月～2月	9:30～12:30	13:00～16:00	通し利用可能

利用料金 金額には入園料、駐車場料金は含まれておりません。

部屋名	利用料金		
	午前	午後	午前・午後通し利用
広間	4,300円	6,300円	10,600円
次の間	3,100円	4,600円	7,700円
控の間	1,700円	2,600円	4,300円
小間	2,800円	4,100円	6,900円
立礼席	3,000円	4,400円	7,400円

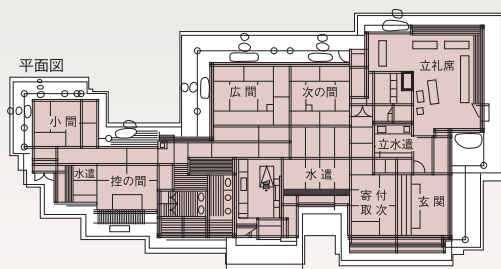
申込方法

- (1) 申込は事前に電話にて日程を確認してご予約ください。ご利用日の3ヵ月前からの先着順で、1週間前までにお申込みください。
※ご利用の内容によってはお断りする場合もございます。
- (2) 電話予約後、歓楓亭利用申込書に必要事項をご記入のうえ、ご利用の1週間前までにご提出ください。
※郵送・ファックスでも可
- (3) 利用申込書提出後、お客様には後日使用承諾書を返送いたします。
- (4) 料金のお支払いは、ご利用当日に歓楓亭でお願いいたします。

注意事項

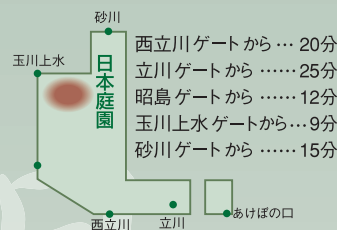
- (1) 展示会・着付け・日本舞踊などでのご利用はできません。
- (2) 詩吟・三味線・香道など、音曲や香りが伴うものについては、他の利用団体との調整が必要となります。
- (3) 茶道具の貸出をご希望の場合は、お申込時にご相談ください。
- (4) 利用の権利を他に譲渡・転貸することはできません。

<歓楓亭内の見取り図>



日本庭園のご案内

各ゲートから日本庭園までの所要時間（徒歩）



日本庭園の開園時間 9:30～閉園30分前

注意事項 庭園内でのペット同伴・喫煙・飲食・テント・レジャーシートは不可。

入園料 日本庭園は公園入園料のみでご鑑賞いただけます。

季節の花 日本庭園では落ちついた雰囲気の中、四季折々の花が楽しめます。

植 物 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
シャガ												
ツツジ												
ボタン												
スイレン												
ハナショウブ												
アジサイ												
キキョウ												
ヤブカンゾウ												
ホトギス												
モミジ(紅葉)												
サザンカ												
ツツブキ												
ツバキ												
ウメ												
シダレザクラ												

※花期は、気候によって変わることがあります。

交通のご案内

- JRご利用の場合は西立川ゲート、自動車ご利用の場合は砂川ゲートが、最寄ゲートです。
- 西武鉄道ご利用の場合は、武蔵砂川駅から砂川ゲートが最寄ゲートです。
- 各ゲートから日本庭園(盆栽苑)までは、園内を巡回する「パークトレイン(日本庭園前下車)」やレンタサイクルをご利用になると便利です。

お申込み・お問い合わせ

国営昭和記念公園管理センター

〒190-0014 東京都立川市緑町3173

☎ 042(528)1751(電話自動応答システム)

国営昭和記念公園日本庭園は、伝統的な技術を活かし、四季折々の季節感を表現した「池泉回遊式庭園」です。
これは、池を中心として滝・流れ・州浜・木橋・菖蒲田等の自然景観を巡る庭園で、江戸時代の大名庭園に多く見られる様式です。
日本庭園ならではの落ち着いた佇まいの中、花鳥風月の清遊をお楽しみ下さい。



四季の移ろい・花鳥風月
春のサクラ・ボタンから始まり、ハナショウブ、キキョウ、モミジ、雪吊り等、訪れるたびに違った装いで皆様をお迎えます。四季折々の樹木の美、花の移ろい、静かな時の流れとともに楽しみ下さい。

イベント



「はじめてのお茶室」

普段上がることのできない広間で、目の前でお点前をご覧いただきながらお茶と季節のお菓子をお楽しみいただけます。自由な服装・座り方でゆったりとしながらも凜とした素晴らしい時間をお過ごしください。
詳しくはホームページをご覧ください。

うつろう季節を心ゆくまで...

華やかに、鮮やかに、

盆栽苑

歴史と伝統ある国風盆栽展クラスの盆栽を中心に、芸術作品としても優れた盆栽を鑑賞していただけます。また、若木が盆栽へと成長して行く過程もご覧いただけます。



数寄屋造り

庭園内の建物は全て数寄屋造りで統一され、日本でも数少ない数寄屋大工などの職人が継承している伝統的な技法に加え、一般の木造建築にはほとんど見られなくなった左官や漆塗り等を用いています。中でも池の西にある「欲楓亭（かんふうてい）」には床の間を備えた広間（11畳）、次の間（8畳）、小間（四畳半）及び控の間（6畳）、立礼席等があります。

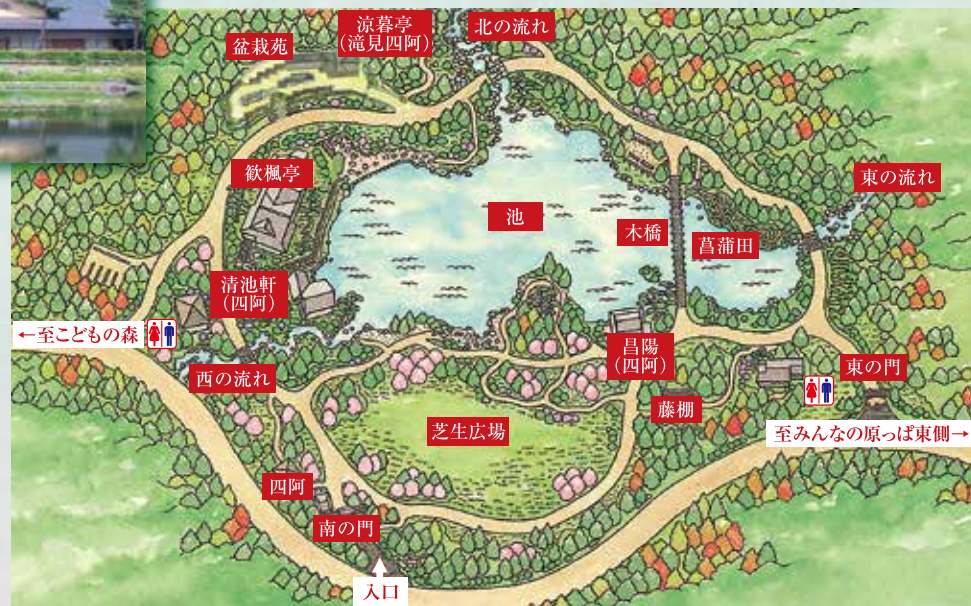
庭園

この庭園の大きな特徴は、その広がりのある景観です。6haという恵まれた敷地に、広々とした大空の下で庭園美に触れることが出来ます。庭園の北側には高低差30mの人工の山が造られ、マツ、コナラなどを中心とした樹木に覆われていますが、この山を借景として取り込むことで、奥行のある雄大な景観を作り上げています。



池・滝・流れ

庭園のほぼ中央には約6300㎡の池があり、水の流れは北と東から注がれ、西から静かに流れ出ています。北の流れは上流部に滝を配し心地よい水音を響かせています。



芝生広場

池の南側には約2800㎡の芝生広場があり、春には、見事なシダレザクラもご覧いただけます。